



# 平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トスネット  
コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	7,035	2.1	542	52.3	619	43.4	360	63.5
26年9月期第3四半期	6,890	3.5	356	33.2	431	33.6	220	67.3

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 391百万円 (68.7%) 26年9月期第3四半期 232百万円 (22.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	84.48	—
26年9月期第3四半期	52.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	6,814	—	3,654	—	3,654	53.6
26年9月期	6,228	—	2,818	—	2,818	45.2

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 3,654百万円 26年9月期 2,818百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	2.2	660	1.5	750	0.9	470	21.0	107.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績の「1株当たり当期純利益」については、公募増資による普通株式の新株式発行株式数(440,000株)及び第三者割当増資による新株式発行株式数(60,000株)を含めた期中平均発行株式数により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期3Q	4,732,600 株	26年9月期	4,232,600 株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	2,443 株	26年9月期	2,443 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期3Q	4,268,691 株	26年9月期3Q	4,230,159 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いております。企業収益及び雇用・所得の環境は改善傾向が続いており、個人消費は持ち直しの兆しが見られますが、先行きは不透明な状況となっております。

当警備業界におきましては、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、同業他社との受注競争の激化や警備品質確保のためのコストアップ要因等を抱え、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、雑踏警備、施設警備及び列車見張り警備の受注拡大等、当社グループの中核となる事業の展開を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,035百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は542百万円（前年同四半期比52.3%増）、経常利益は619百万円（前年同四半期比43.4%増）、四半期純利益は360百万円（前年同四半期比63.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は5,967百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント利益は254万円（前年同四半期比68.7%増）となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

#### ① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、震災復興需要への対応及びイベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組み、当部門の売上高は3,903百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

#### ② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置づけ、首都圏を中心に積極的に拡大を図っておりますが、当部門の売上高は1,594百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。

#### ③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置づけており、当部門の売上高は445百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

#### (ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び人材派遣等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は159百万円（前年同四半期比1.7%減）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期は1百万円の損失）となりました。

#### (マーキングサービス事業)

マーキングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。マーキングサービス事業の売上高は571百万円（前年同四半期比42.7%増）、セグメント損失は3百万円（前年同四半期は5百万円の損失）となりました。

#### (電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。電源供給事業の売上高は336百万円（前年同四半期比3.3%減）、セグメント損失は9百万円（前年同四半期は13百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ586百万円増加し、6,814百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が96百万円、警備未収入金が74百万円、のれんが76百万円減少したものの、現金及び預金が829百万円増加したこと等によるものであります。

負債は前連結会計年度末と比べ249百万円減少し、3,160百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等が132百万円、未払消費税等が72百万円減少したこと等によるものであります。純資産は、前連結会計年度末と比べ836百万円増加し、3,654百万円となりました。この主な要因は、資本金が258百万円、資本剰余金が258百万円、利益剰余金が288百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は53.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,955,745	2,785,066
受取手形及び売掛金	257,228	160,679
警備未収入金	976,142	901,306
仕掛品	2,452	85
原材料及び貯蔵品	30,435	34,076
繰延税金資産	38,486	51,485
その他	139,053	120,047
貸倒引当金	△3,400	△3,306
流動資産合計	3,396,143	4,049,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	300,596	289,450
土地	972,353	972,377
その他	195,535	191,698
有形固定資産合計	1,468,484	1,453,525
無形固定資産		
のれん	628,903	551,930
その他	33,474	30,569
無形固定資産合計	662,377	582,499
投資その他の資産		
投資有価証券	540,516	574,527
投資建物(純額)	7,835	6,965
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,037	3,037
繰延税金資産	18,604	9,419
その他	72,847	72,569
貸倒引当金	△14,181	△13,798
投資その他の資産合計	700,745	724,805
固定資産合計	2,831,607	2,760,831
繰延資産		
株式交付費	—	3,773
創立費	486	395
繰延資産合計	486	4,168
資産合計	6,228,237	6,814,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	910,000	910,000
1年内返済予定の長期借入金	424,366	145,308
未払法人税等	247,800	115,500
未払消費税等	258,859	185,871
未払費用	579,009	601,024
賞与引当金	54,110	98,826
その他	162,257	169,066
流動負債合計	2,636,403	2,225,597
固定負債		
長期借入金	539,939	712,580
退職給付に係る負債	199,662	178,216
繰延税金負債	1,099	5,109
その他	32,898	38,509
固定負債合計	773,600	934,415
負債合計	3,410,003	3,160,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	524,680	782,930
資本剰余金	508,300	766,550
利益剰余金	1,670,887	1,959,660
自己株式	△711	△711
株主資本合計	2,703,156	3,508,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,351	147,192
退職給付に係る調整累計額	△12,273	△1,193
その他の包括利益累計額合計	115,077	145,998
純資産合計	2,818,233	3,654,428
負債純資産合計	6,228,237	6,814,441



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,890,716	7,035,144
売上原価	4,882,372	4,876,375
売上総利益	2,008,343	2,158,769
販売費及び一般管理費	1,651,938	1,615,788
営業利益	356,405	542,981
営業外収益		
助成金収入	15,137	16,434
受取賃貸料	17,452	18,499
受取出向料	15,707	17,931
持分法による投資利益	20,467	20,543
その他	28,465	26,738
営業外収益合計	97,230	100,147
営業外費用		
支払利息	17,330	12,557
投資有価証券運用損	1,677	2,171
株式交付費償却	—	1,886
その他	3,036	7,440
営業外費用合計	22,043	24,056
経常利益	431,591	619,072
特別利益		
固定資産売却益	—	24
特別利益合計	—	24
特別損失		
固定資産除却損	46	322
固定資産売却損	47	1,172
投資有価証券評価損	398	—
特別損失合計	492	1,495
税金等調整前四半期純利益	431,098	617,602
法人税、住民税及び事業税	216,088	257,314
法人税等調整額	△5,617	△342
法人税等合計	210,471	256,972
少数株主損益調整前四半期純利益	220,627	360,630
四半期純利益	220,627	360,630

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	220,627	360,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,476	19,841
退職給付に係る調整額	—	11,079
その他の包括利益合計	11,476	30,921
四半期包括利益	232,104	391,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,104	391,551

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月9日を払込期日とする公募増資により普通株式440,000株及び同年6月17日を払込期日とする第三者割当増資により、普通株式60,000株を発行いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が258,250千円、資本剰余金が258,250千円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が782,930千円、資本剰余金が766,550千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	5,979,697	161,884	400,498	348,636	6,890,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	46,327	8,648	—	—	54,975
計	6,026,024	170,532	400,498	348,636	6,945,691
セグメント利益又は損失(△)	150,981	△1,556	△5,406	13,102	157,120

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	157,120
セグメント間取引消去	199,284
四半期連結損益計算書の営業利益	356,405

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	5,967,278	159,106	571,762	336,997	7,035,144
セグメント間の内部売上高又は振替高	61,255	5,610	—	746	67,612
計	6,028,534	164,716	571,762	337,744	7,102,757
セグメント利益又は損失(△)	254,762	△225	△3,420	△9,951	241,164

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	241,164
セグメント間取引消去	301,816
四半期連結損益計算書の営業利益	542,981

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。